

## 水稻品種「金色の風」の収量構成要素等を明らかにしました

### 【1 水稻品種「金色の風」を高品質・良食味とするための稈長の上限】

美味しい「金色の風」をつくるには倒さないことが肝心です。そのためには、稈長を伸ばしすぎないようにします。

倒伏程度を3未満に抑え、整粒歩合70%以上を確保するための稈長の上限は87cmです。

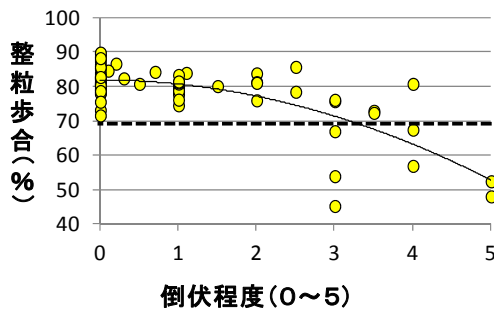


図1 倒伏程度\*と整粒歩合

\*倒伏0は直立、5はべったりと倒れている状態です。

倒伏程度が3未満の時、整粒歩合は70%以上を確保できます。

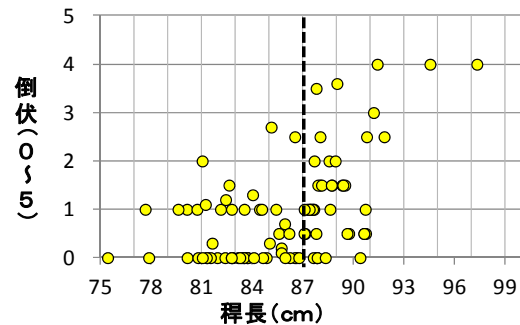


図2 稈長と倒伏程度

稈長が87cm以内の時、倒伏程度は3未満に収まります。

### 【2 目安となる収量構成要素等】

稈長 (cm)	収量水準 <1.9mm篩> (kg/10a)	m <sup>2</sup> 粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂粒数 (粒)	登熟歩合 (%)	玄米千粒重 <1.9mm篩> (g)
87以下	540	24~27	380~430	56~71	88以上	22.7~24.0

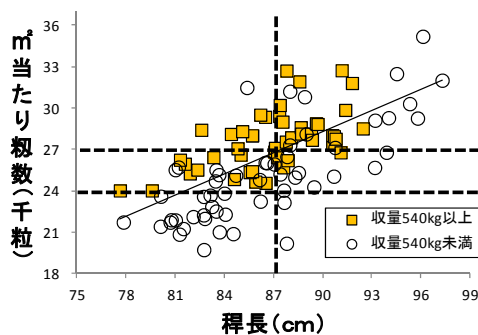


図3 稈長とm<sup>2</sup>当たり粒数

下記①②を満たすm<sup>2</sup>当たり粒数は24~27千粒です  
 ①収量水準540kg以上 → m<sup>2</sup>当たり粒数24千粒以上  
 ②稈長87cm以下 → m<sup>2</sup>当たり粒数27千粒以下

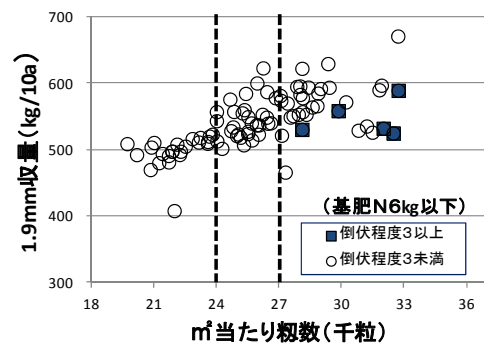


図4 m<sup>2</sup>当たり粒数と収量

m<sup>2</sup>当たり粒数が24~27千粒の時、倒伏程度は3未満に収まります。

### 【3 留意事項】

- (1) 本成果をもとに、良食味米の栽培マニュアルを更新します。
- (2) 基肥施肥量は、窒素成分で6kg/10a以内です。
- (3) 追肥の判断は、栄養診断基準に基づき行います。